



日野市は2050年までにゼロカーボンの暮らしができる地域の実現を目指しています



第4回

2023年11月5日



第4回日野市気候市民会議 テーマ ～エネルギー～

日時 11月5日(日) 13:45～17:45

場所 多摩動物公園 動物ホール

講師 磐田 朋子氏(芝浦工業大学 副学長)、東京ガス(株)、富士電機(株)

内容 暮らしの脱炭素化を整理して考える(磐田氏)、事業者からの情報提供(東京ガス、富士電機)、参加者によるグループワーク

参加者の感想・意見

●テーマについてのアイデア

省エネ製品へ買替促進、節電・節ガス推進、アイドリングストップ推奨、CO2見える化(アプリ、住宅の測定、値札表示)、ミニマム生活、クール・ウォームビズ、暮らし方をまとめる(1部屋で過ごす、続けて入浴)⇒**暮らしの変容**

住宅省エネ化(二重窓など断熱や建材、排熱利用やトイレで再生水使用)、再生エネルギー推進(地形を活かして)、公共施設の省エネ化・再エネ使用、電線自由化、太陽光パネル推進(避難所、畑など)、再生メタンの推進、グリーンカーテンや緑化の推進、ミスト設置、道路の保水、パッシブデザイン採用、小水力発電の推進、スーパーや電車の冷暖房設定基準、コンパクトシティ⇒**ハード面での工夫**

広報ひので毎号PR、農業との連携、サマータイム推進、産官学の連携、省エネ家電の地域通貨や環境ポイントバック、省エネへの補助金、暮らしにCO2削減行動の浸透(お金、カロリーに次ぐ指標へ)、省エネに関する減税及び課税、安心リフォーム業者の紹介、企業の省エネアピール⇒**エコ活動の後押し**

●グループワークに関する感想

- ・ エネルギーの話題は難しく、市民として出来ることを一生懸命絞り出した。出来る範囲でがんばりたい。
- ・ 省エネ等は初期費用が高く、手を出しにくい。
- ・ 取り組みがどれくらい省エネになるか不明。使用するエネルギーの可視化は重要。
- ・ 省エネに関して、企業や自治体によって情報が共有され、それを私たちが取捨選択していく構図を生み出してほしい。

●会議の内容・運営に対する意見・提案・質問

- ・ 動物園での開催は新鮮で良かった。
- ・ 全体的に内容が難しかった。
- ・ 発表の順番に工夫が欲しかった。



気候市民会議とは

地域の縮図となるよう無作為抽出された市民が、気候変動についてさまざまな情報を受けて熟議し、提言などを取りまとめる会議です。会議は、8月～12月に月1回開催し、政策提言を取りまとめていきます。



次回

12月10日(日) 13:15～

日野市役所505会議室

問い合わせ先：環境保全課

電話番号：042-514-8294 FAX:042-581-2516

Eメール：kankyo@city.hino.lg.jp